

# ふくよか



## 目次 CONTENTS

p2.....**企業長より**

～令和3年の年頭所感～

p4.....**特集① 第42回長崎県地域医療研究会**

～今年度は中止となりました～

p5.....**きり☆発見**

～島原病院医療局検査科  
臨床検査技師 北川 泉 さん～

p6.....**特集② 令和2年度上半期医業収益**

～新型コロナウイルス感染症の影響による  
入院外来収益の状況について～

p7.....**会計年度任用職員制度**

～制度が替わりました～

p8.....**Break Time**

～とある「お寿司屋」さん～

vol.  
26



# 令和三年 年頭所感

企業長 米倉 正大

あけましておめでとうございます。

国民が目覚めたセルフメイケーション

昨年は、新型コロナウイルス感染の世界的な、爆発的な蔓延で、明け暮れました。今年、ワクチン開発の成功でこの感染症を克服し、東京でのオリンピック・パラリンピックが開催され、平穏な日常に戻ってくれることを切に願っています。

さて今回の新型コロナウイルスで、世界中の国に大きな変革を起しました。すべてのものが、都市に一極集中している状態に対し警鐘が鳴らされ、リモートワークなどが促進され変化しつつあります。同時に、日本では数年前からデジタル化と言われていましたが、いざ実行となると、実は多くのシステムでは、ほとんど進んでいないことが明らかになり、デジタル行政の後進国ぶりが明らかに。ことなど、解決しなければならぬ課題が浮き彫りになりました。このため、新しく成立した菅内閣では、国が率先して、デジタル化を促進させるという表明もされました。病院企業団も、まずはお金のかからないところから、デジタル化に取り組んでいきたいと思

一方、コロナ禍で浮き彫りになった一つが、医療機関への不要不急の受診控えがあります。緊急性が低く、必ずしも医師に診てもらわなくても、その回復が見込める病気や怪我などが典型的です。

昨年1月に日本で初めて新型コロナウイルス感染者が発生して以降、日本の多くの病院や診療所が、この状況を実感しています。まだ検証されているわけではありませんが、新型コロナウイルス以前は、過剰な診療があったのではないかと気がなるところ。海外では、国民皆保険制度が定着しているわけではないので、以前から軽い怪我や病気にかかったときは市販薬を飲むなどして、自宅で対処する、いわゆるセルフメディケーションが一般的です。今回、日本でも風邪や腹痛など、また花粉症に対しては薬局などで薬剤師に相談して、医師の処方箋なしで治した人も多かったです。

さらに、報告によると、季節性のインフルエンザの流行が世界中で全く起きていないといえます。昨年の8月ごろ、インフルエンザが流行しやすい冬を過ぎた

南半球では、患者数が例年より極めて少なかったそうです。日本でも例年インフルエンザは3月下旬ごろまで流行が続きますが、昨年は2月中旬には収束に向かったといえます。

厚生労働省によると、昨年の夏の9月27日までの1週間で、全国で約5,000の医療機関から報告されたインフルエンザ患者は7人で、前年同期の4,543人に比べ顕著に減少したということです。いったい何が起こったのか、いろいろ説が飛び交っています。新型コロナウイルスを警戒して、手洗いやマスク着用や、さらに学校閉鎖などの要因が、インフルエンザを含む感染症の激減につながったのではないかと推測されています。実際、長崎県の公的病院DPCデータの4月から7月までの分析によると、呼吸器感染者の入院患者数が15%ほど減少しています。一方、コロナ流行とどのような関係があるのかはつきりしません。島原病院では脳卒中の入院患者さんが、例年夏季の数か月に、あるそうですが、今年は30数例で例年の約60%だったそうです。





また整形外科でも、休校や部活が中止になり、外での活動が制限されて、怪我が少なくなるに加えて、軽い怪我では自宅で対処して、受診が減ったということですが。このことからこれまで、不要不急の受診がいかに多かったかがわかるという医師もいたほどです。

最近の報告によると、昨年4月から7月までの日本の医療費は前年に比べ1兆1千億円ほど削減され、診療控えが顕著になっており、この傾向は今後もしばらくは続くと思われる。治療や検査遅れで、重症化の恐れが出てくるのか、単なる過剰診療だったのかは、今後の検証を待つかありませんが、もしこの状態が続くようであれば、日本の医療体制も変更が必要になるかもしれません。

さて、病院企業団の各病院でも、新型コロナウイルス感染者が落ち着いた8月以降、これまで減少していた入院患者が増加すると思いきや、なかなか患者さんの入院は増えず、病床利用率は減少したままで11月まで経過しています。もう少し様子を見ないと確実なことは言えませんが、with または post コロナの世界は、医療界に大きな変化の波を起こし、今後もセルフメディケーションは続いていくのか注視する必要があると思います。

この文章を書いている際から(12月初め)、東京、大阪、北海道などは、感染の第3波が押し寄せています。いずれ長崎県にも波及することを覚悟しなければなりません。万全の対策を怠ることがないよう、今から対策を考えておく必要があります。



## へき地医療貢献者表彰受賞

この度、壱岐病院・向原茂明院長が、長年にわたり自治体病院に医師として勤務し、献身努力をされている功績に対して贈られる「令和2年度へき地医療貢献者表彰」を受賞されました。



## 第42回長崎県地域医療研究会について

今年度も10月10日、11日に開催される予定だった第42回長崎県地域医療研究会ですが、新型コロナウイルス感染症の感染を防ぐため、中止となりました。

### ○中止までの検討

今年度の地域医療研究会を開催するのか検討するため、事前に書面アンケートにて各病院のご意見を募り、8月26日に第42回長崎県地域医療研究会のための世話人会をオンラインにて開催しました。各病院長様方におかれましてはご参加いただきありがとうございました。

その世話人会にて、まず現地開催については全会一致で中止が決定しました。次に、オンラインで開催する等のご意見はありましたが、今年度は抄録集と作成済発表資料の配布をすることとし、研究会の中止が決定しました。

### 【抄録集掲載予定一般演題数】

所属	医師部門	コメディカル・事務部門	看護部門	計
精神医療センター		1	2	3
島原病院		3	3	6
五島中央病院			1	1
富江病院		1	1	2
上五島病院	1		2	3
対馬病院	1	1	2	4
上対馬病院			1	1
吉岐病院	1		5	6
本部(看護人材育成・キャリア開発委員会)			1	1
こども医療福祉センター		1		1
川棚医療センター			3	3
諫早総合病院		2	1	3
計	3	9	22	34

### ○抄録集の配布について

現在、幹事病院の精神医療センターにて鋭意製作中です。発表を予定されていた皆様におかれましては、製作にご協力いただきありがとうございます。完成次第各病院へ郵送いたします。

新企画!

# きらり★発見

Vol.1



島原病院医療局検査科

きたがわ いずみ

臨床検査技師 北川 泉 さん

(企業団採用:平成27年5月)

企業団病院・診療所で働く「きらり」と光る職員を発見し、インタビューしました。

聞き手:上田副企業長

- ◆趣味など、自己PRをお願いします。  
◇趣味は、今はコロナ感染の恐れがあるので、自宅で夫と一緒に、映画などのDVDを鑑賞しています。  
お酒が強いです。でも晩酌はしません。飲み会では周りが先につぶれてしまいます。
- ◆臨床検査技師になったのはなぜですか。  
◇亡くなった父が病院に入院していた時に臨床検査技師さんから優しく声をかけてもらい、臨床検査技師という仕事に興味を持ちました。
- ◆病院企業団に就職した理由は何ですか。  
◇病院企業団というより、地域の中核病院である島原病院で、臨床検査技師として経験を積みたかったからです。
- ◆検査科の雰囲気はどうですか。  
◇検査科では、心電図やエコーなどの生理機能検査を担当しています。職場には、12名の職員がいるのですが、20歳台が半数を占めています。検査科全体の雰囲気も良く、楽しく仲良くやっています。
- ◆職場では泉ちゃんと呼ばれているんですか。  
◇いや、北川さんとか、あとは旧姓で呼ばれることが多いです。
- ◆仕事をしていて、一番嬉しかったことはなんでしたか。  
◇80歳になる女性の患者さんから、「あなたに検査してもらって良かった」と言ってもらえたことです。定期的に通院される方で、私のことを覚えてくれていて、「いつもありがとう」と言ってくれます。

- ◆今、自己研鑽として取り組んでいることはありますか。  
◇超音波検査士の認定試験を受験しようと頑張っています。  
また、現在流行している新型コロナウイルス LAMP検査にも携わっています。
- ◆将来どういう職員を目指していますか。  
◇採用6年目になるので、先輩を見ながら、後輩に慕われるような職員になりたいです。今は生理機能検査がメインですが、臨床検査技師として幅広くマルチにやっていきたいです。

副企業長より  
明るくて、頑張り屋の北川さんでした。  
お酒が強いとのこと、一度勝負したいですね!



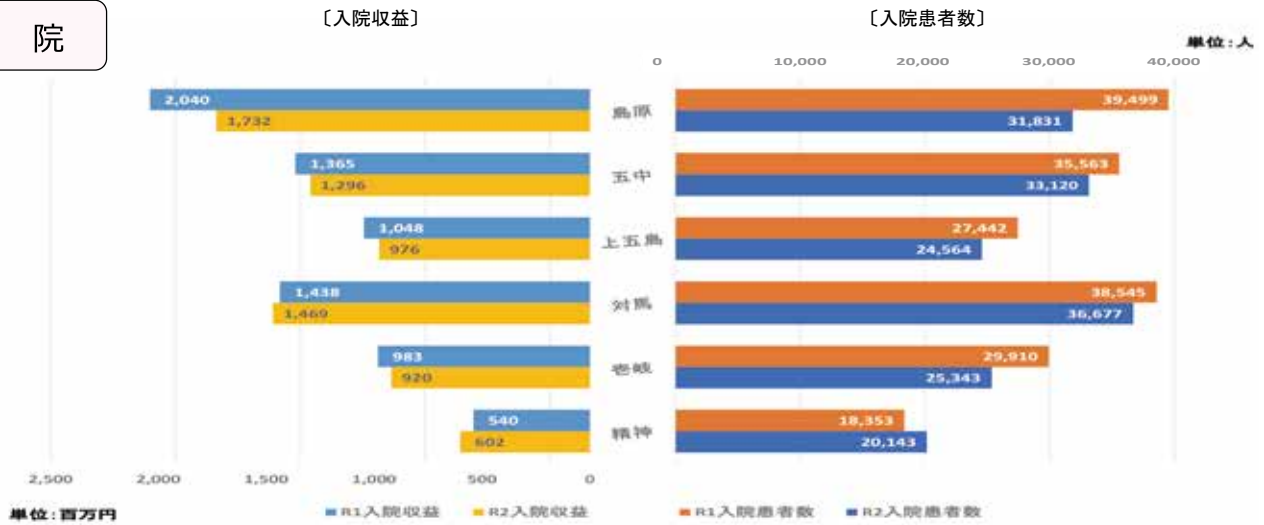
エコー検査をする北川さん



# 令和2年度上半期医業収益の状況 (基幹病院)

医業収益の大半を占める入院・外来収益の令和2年度上半期の状況は以下のとおりです。

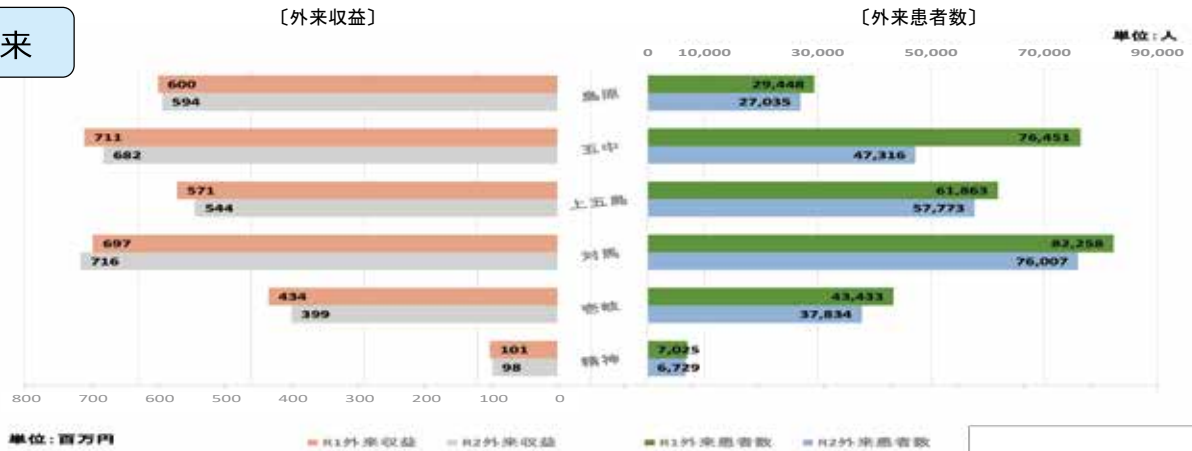
## 入院



## POINT

令和2年度上半期の入院患者数は、基幹病院では、精神医療センターを除き減少(△17,634人[△9.3%])し、企業団全体では**18,446人(△8.9%)の減少**となりました。収益も基幹病院では、精神医療センターと対馬病院を除き減少(約△4億1,900万円[△5.6%])し、企業団全体で昨年度の上半期から**約4億4,700万円(△5.7%)の減少**となりました。

## 外来



## POINT

令和2年度上半期の外来患者数は、企業団全体で大きく減少(△49,689人[△13.9%])しました。収益も対馬病院を除き減少し、企業団全体で昨年度の上半期から**約1億300万円(△2.9%)減少**となりました。

## 今後の見込み

その他の医業収益を含めた、病院企業団全体の医業収益は昨年度と比較し、**約5億5,500万円(△4.5%)減少**しています。

精神医療センターを除いては新型コロナウイルス感染症の影響が大きいものと考えられます。

感染者の発生が落ち着けば下半期は回復していくものと考えますが、今後も感染拡大していく可能性もあり、従来通りの患者確保が厳しいことを前提に、これに対応していく必要があります。



# 会計年度任用職員制度

## 会計年度任用職員とは

2017年の地方公務員法と地方自治法の改正で、「臨時職員」と「一般職非常勤職員」は2020年4月より会計年度任用職員という名称に統一されることになりました。

会計年度任用職員は、文字通り「会計年度」ごとに任用する非常勤公務員を指します。しかし、これまでの臨時職員とは全く異なります。

給与はもちろん、昇給、休暇制度など、いろいろな面で待遇が改善されています。

## 会計年度任用職員の内容

### ○ 「フルタイム」と「パートタイム」会計年度任用職員の違い

正規職員と同じ、週38時間45分勤務する「フルタイム」会計年度任用職員と、フルタイムより短い勤務時間の「パートタイム」会計年度任用職員に分かれます。またフルタイム会計年度任用職員は共済組合に加入できるなど待遇が違います。

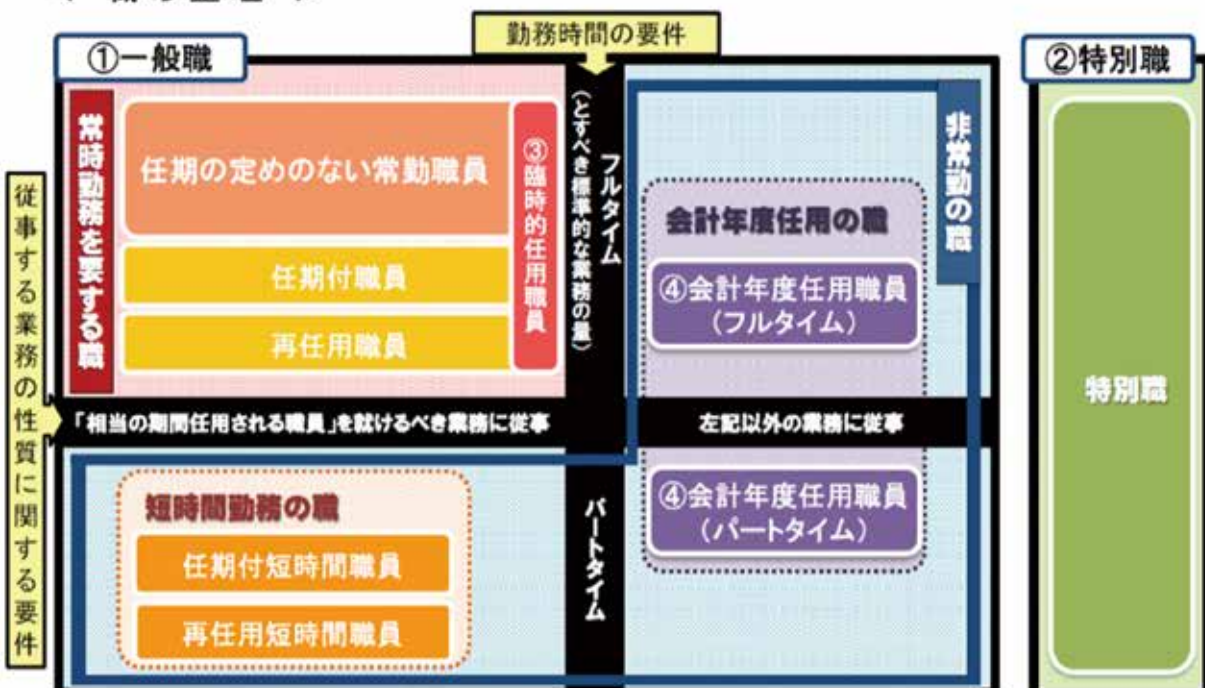
(長崎県病院企業団2020年入職 フルタイム 420名 パートタイム 403名)

### ○ 会計年度任用職員の給与、昇給、休暇制度

給与は正規職員の給与を基準として、勤務時間や勤務日数及び職務内容等に応じて算定します。なお、年に一度昇給があります。(上限額あり)

## 常勤職員と臨時・非常勤職員との関係

### < 職の整理 >



出典：会計年度任用職員制度について（総務省自治行政局公務員部）資料より



## Break Time ～とある「お寿司屋さん」～

私が、長崎県に入庁したのは昭和62年4月です。ちょうど国鉄が分割・民営化されJRグループ7社が発足した年です。最初の赴任先は、壱岐の島で、壱岐支庁（当時は、本土の県の総合事務所は振興局、離島は支庁と呼ばれていました。）の建設部管理課という部署に配属されました。今回は、その時にお世話になった「お寿司屋さん」の話をしたと思います。

壱岐勤務時代は、独身ということもあり、週3回程度？、飲みに行っていました。その時に一番頻繁に通っていたのが、壱岐支庁から徒歩5分圏内にある「お寿司屋さん」です。「お寿司屋さん」でありながら、マスター自慢の寿司よりも、鰯やイサキの背切りのお刺身などを肴にお酒を呑んで、締めにはマスターの奥さんが作る卵焼きやみそ汁をすすっていました。なので、給料日の集金では、月10数回程度通って、だいたい2万円払うぐらいの安さでした。

その当時は、職場である管理課に、私も含めて、しょうちゃんトリオと呼ばれる仲間がいて、一緒にこの「お寿司屋さん」に行き、たらふく呑んでいました。係長が「省一」、私が「彰二」、もう一人が「昌三」という名前前で、それでショウちゃんトリオなんですけど、ショウの字が違い、森昌子さんの昌、表彰状の彰、省くの省と言って、よく係長をからかったものでした。このことは、今でもマスターや奥さんが懐かしくお話をされます。

長崎に勤務になった後も、壱岐に訪れるたびに、この「お寿司屋さん」に立ち寄るのですが、年に1回訪れるかどうかということと、1次会がその「お寿司屋さん」で行われることが少なく、飲み会が終わったあとに、一人で立ち寄り、奥さまの味噌汁をすするぐらいになり、段々お付き合いが遠のいていました。

ところが、昨年度、病院企業団に配属になり、壱岐病院へ出張に行くと、一次会は、なんとその「お寿司屋さん」でした。その後も、壱岐に行くたびに「お寿司屋さん」が一次会の場所に設定されていて、とても感動しました。最近では、今まで無かったメニューが開発されているようで、それが「トロタク」という巻き寿司です（写真）。要は、鉄火巻（トロ）の中にタクアンを入れたものなんですけど、これが、壱岐の麦焼酎とよく合います。壱岐の島へお越しの際は、この「お寿司屋さん」にお立ち寄りされてはでしょうか。



### 【とある「お寿司屋さん」の魅力!】

- ①呑んでよし、食べてよし
- ②元が取れる、リーズナブルな値段
- ③トロタクが大人気
- ④素敵なマスターと奥さまに会える
- ⑤しょうちゃんトリオも大満足



とある「お寿司屋さん」に興味のある方は、壱岐病院の方に聞いて下さい。Break Timeの文章の中にもヒントが隠れていますよ。

(文：副企業長 上田 彰二)

### 編集後記

明けましておめでとうございます。

令和三年は丑年ですね。ふくよかの表紙を干支の動物で飾るのは、申年、酉年、戌年に続いて四つ目となります。

長崎市近辺で放牧されている牛がいる場所は少なく、そんな貴重な牛を撮影してきてくださった編集長と編集員のTさんに感謝申し上げます！

ふくよか

「ふくよか」の由来

医療人として患者さんに寄り添った会話が自然と出てくるような能力を付けて欲しいとの企業長からの願いが込められています

令和3年1月発行

編集・発行/長崎県病院企業団本部  
〒850-0035 長崎市元船町17-1 長崎県大波止ビル7階  
TEL.095-825-2255 FAX.095-828-4759  
E-mail: honbu@nagasaki-hosp-agency.or.jp  
URL: http://www.nagasaki-hosp-agency.or.jp/  
上記メールアドレスに記事についてのご意見・ご感想を  
どんどんお寄せください!



長崎県病院企業団

検索